

科目名	理学療法評価学 I (総論)【理学】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	堤 恵理子						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必修 (理学)
授業の概要 及びねらい	理学療法における評価の位置付けと意義、また評価の種類、流れ等について学習する。その後、各論として問診と観察、形態計測、関節可動域テスト、徒手筋力検査、動作解析の理論と概要を講義し、必要に応じて実技も行う。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法における評価・測定、治療の流れを理解し、習得する。 2. 障害の捉え方としての障害モデル (ICIDH・ICF) を理解し、習得する。 3. 理学療法で用いる基本的な検査・測定法の意義・目的を理解し、習得する。 4. 形態計測の理論および方法論について理解し、習得する。 5. 関節可動域 (ROM) 測定の理論および方法論について理解し、習得する。 6. 徒手筋力検査 (MMT) の理論および方法論について理解し、習得する。 7. 動作解析の理論および方法論について理解し、習得する。 						
学習方法	講義中心で学習する。						
テキスト及 び参考書等	理学療法評価学 (金原出版) 新・徒手筋力検査法 (協同医書出版社)						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎					70	
小テスト等	◎					20	
宿題・授業外レポート							
授業態度			○			5	
受講者の発表							
授業への参加度			○			5	
その他	定期試験などから、どの程度理解し、習得しているかという点を評価する。						
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	形態計測①						
第 2 週	形態計測②						
第 3 週	関節可動域測定①						
第 4 週	関節可動域測定②						
第 5 週	関節可動域測定③						
第 6 週	関節可動域測定④						
第 7 週	関節可動域測定⑤						
第 8 週	中間試験						
第 9 週	徒手筋力測定①						
第 10 週	徒手筋力測定②						
第 11 週	徒手筋力測定③						
第 12 週	徒手筋力測定④						
第 13 週	徒手筋力測定⑤						
第 14 週	徒手筋力測定⑥						
第 15 週	徒手筋力測定⑦						
第 16 週	試験						
備考	授業外学習 (事後学習) の指示						